

地域学校協働本部だより

調布市立国領小学校
地域学校協働本部
地域コーディネーター
渡辺淑子
野呂奈津子
今吉智美
堂免由佳子
令和3年2月発行

平成25年に国領小で発足した地域学校協働本部は、今年度で設置8年目となります。

学校と地域が一体となり学校を支援する取り組みは、時代の過渡期である今こそ、必要とされるものと思われます。現在4人の地域コーディネーターを中心に学校の教育や環境の向上ため活動しています。

令和2年度 活動報告

国領小サポートクラブ



国領小サポートクラブは、現在26名の登録メンバーを中心に、登校見守りや花壇の管理など国領小の環境整備をサポートしています。

登校見守りは、寒い日も雨の日もありますが、子どもたちの笑顔と「おはようございます！」の元気な声に励まされ、毎日やりがいをもって通学路に立っています。

‘花いっぱい!活動’では、コロナ禍のなか、子どもたちに少しでも明るい環境を作りたいと、正門

周りや校庭の花壇で色とりどりの花を育てています。

今年は、東京都公園協会の’ブルーガーデンプロジェクト’よりたくさんの花苗をご提供いただき、医療従事者の皆様への感謝を表現した花壇を設けました。





昨年度は「夏休み勉強会」を開催し、中学生～大学生の先輩達や地域の方々にお手伝いいただきました。



学習支援



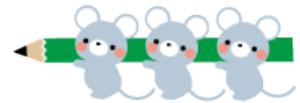
今年度は社会の状況を踏まえ、通常授業の補助にも関わっている支援員の少数で「放課後学習支援」を秋から行っています。



学校と連携し、週に2回、1回につき約1時間、主に1・2年生を対象としています。



先生に用意していただいた課題、漢字練習やテストなおしなどを、少しのおしゃべりをエッセンスに、時にはタイマーや黒板などのアイテムを使って、飽きずに楽しく学習できるよう努めています。



「本のたからばこ」と称し様々な読書活動が行われている国領小学校。陰で支えているのが2名の図書ボランティアさんです。

今年度も昨年度までと同様に、週1回、中休みや昼休みは学校の先生とは違う、地域の大人として子どもたちの読書活動を見守っています。

それ以外の時間帯には、気持ちよく利用しやすい図書室になるよう、学校司書の西泉先生のご指導のもと、書架整理や本の修繕、新書のブックカバー掛け、授業で使う資料のクリッピングなど幅広く作業をしています。

「地域学校協働本部」とは学校支援活動をはじめとして、幅広い地域住民などの参画を得ながら

「学校を核とした地域づくり」を目指すための「しくみ」です。